

第531回川崎医学会講演会

日時：令和6年4月26日(金) 18:00～19:00

場所：総合医療センター5階 カンファレンス室1 座長 猶本良夫

『直腸癌に対する肛門温存術とストーマ』

医療法人社団高邦会高木病院

副院長、大腸肛門センター長、地域医療連携センター長

赤木 由人 先生

直腸は肛門縁から10cmくらいの消化管最終の部分です。直腸上部では間膜という脂肪組織が存在し、その中を脈管が走行し最外側を薄い固有筋膜が包んでいます。直腸下部では括約筋(平滑筋と横紋筋)が直腸を取り巻いています。また、その外側の骨盤壁には自律神経が存在しています。直腸癌の手術はそれらの筋膜、神経、筋層に損傷を与えずに根治性が求められています。今回は自身が行ってきた手術を、過去から学んだことを踏まえて紹介させていただきます。

※川崎医科大学にてTV会議システムを介して参加をご希望される方は

4月19日(金)までに総合医療センター中央教員秘書室(内線：85141)までご連絡ください。

※大学院生で講義として受講する場合は必ず教務課(大学院)へ問い合わせてください。

《皆様のご来場お待ちしております》